

# 報道関係者向け「先進的な園芸施設の現地見学会・意見交換会」

報道関係者（メディア）に茨城農業への理解や関心を高めてもらうことで、報道する機会が増え、農業への国民の理解醸成に結びつけることを目的に、現地見学会・意見交換会を開催

## ○ 施策分類

広報

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

農水省は、様々なメディアやシンポジウムを通じて、農業の魅力を発信。しかし、より多くの国民に伝えていくためには、報道関係者の方々に農業を理解してもらい、情報発信を行ってもらうことが必要ではないか、との問題意識から企画の検討を開始。

## ○ 取組の内容

報道関係者の興味を引くトピックとして、『次世代を担う、先進的な農業経営を実施している農業者』にフォーカスすることを決定。「太陽光利用型大型ガラスハウスの植物工場」「大型ハウス施設でのアイメック技術によるトマト栽培（フィルム農法）」での現地見学会を開催し、現状や課題、将来展望について意見交換を実施。終了後、本取組のポイントをまとめた資料を作成し、関東農政局本局を通じて管内各拠点に情報共有することで、取組の横展開を実施。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

参加した報道関係者の方々からは「施設内を見学できる機会が少ないので勉強になった」「農業の先端技術に触れることができた」など評価を得ており、後日、多くのメディアに取り上げられた（新聞報道2件、ネット記事2件、ラジオ放送3件）。

当拠点と報道機関との関係強化、また農業への国民の理解醸成を図っていく上でも、継続的な取組としていきたい。



【株式会社 美浦ハイテクファーム】  
太陽光利用型大型ガラスハウスの植物工場でロックウール（人造鉱物繊維）を使用したパプリカの水耕栽培施設

【株式会社 一農】  
大型ハウス施設でハイドロゲル膜と呼ばれる特殊フィルムの上で作物を栽培するアイメック技術によるトマト栽培（アイメック農法）

## 体制図

